

群馬板金広場

(群馬県シートメタル工業会会報)

2007年8月 発行

vol.14

GSMP

群馬県シートメタル工業会
GUNMA SHEET METAL PLAZA
<http://www.gsmp.gr.jp>

発行人

岡部 浩章

発行

群馬県シートメタル工業会事務局

〒370-0801

群馬県高崎市上並榎町342

TEL 027-362-3500

FAX 027-361-3066



ご挨拶

群馬県シートメタル工業会
会長

岩本 博

(株式会社 太田治工)

残暑の節、会員の皆様には、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

会員の皆様のご協力によりまして、6月14日に開催されました第8回の定期総会も盛況のうちに行われ、役員全員の再任となりました事をご報告申し上げます。

工業会の活性化を図り、魅力ある工業会作りを目指して、昨年11月に発足致しました全国工業会正副会長会をご紹介します。

全国を5地区に編成し、北関東地区（栃木・茨城・新潟・埼玉・群馬）群馬県シートメタル工業会は北関東地区になります。

関東地区・中部地区・近畿地区・西部地区の5ブロックで構成されます。

目的・魅力ある工業会作りと、会員企業の発展に各工業界の正副会長と株式会社アマダが情報交換し対応を練る場とする。

【取り組むテーマ】

今改めて工業会のあるべき姿を見据える

- (1) 会員増強
- (2) 研修事業の充実
- (3) 青年部会の育成強化
- (4) 広報活動の推進

上記テーマに沿って各地区で交流会を開催して、各工業会の事例・提案を集約して正副会長会・事務局で検討して工業会全体の方向性をまとめる、以上のようなプロセスで今後工業会はよき方向に進むものと確信いたします。

会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



地域の宝“技術・技能者”の底力アップを

群馬県立産業技術センター
所長

植松 豊

産業技術センター設立5年、「生みの親は県」、「育ての親は県内の企業」そして「栄養源を大学・高専から」の掛け声の下、一流の公設試を目指して来ました。依頼試験・分析、技術相談等の技術支援では、県内企業の皆さんの積極的なご利用により全国的に見ても職員一人当りの業務量でトップクラスになりました。技術支援では限界への挑戦ということで更に上を目指しています。他方、新しいことにチャレンジする研究開発面では、他県の機関に比べると未だ力不足感が有ります。そこで、第二期の中期計画(H18-H20)ではこの部分でも全国のトップクラスの

試験研究機関になるべく努力しているところです。

さて、地域間競争・格差、道州制等言われています。この状況下で、地域が継続的に発展し続けるには、最後に頼れ、間違いの無いのは“人”であろうと思われれます。優秀な技術・技能者が、その地域に、居続け更に集まってくるか、これが地域発展のポイントと考えます。先ず必要なのは既に地域に存在する技術・技能者の力量の更なる底上げが必要だと思います。貴工業会においても技能検定等を通して技術力の向上に多大なご努力をしています。及ばずながら、当センターでも、研修・講習においては、我々の企画するものに加えて企業や団体の皆さんの要望に併せた形の「受託研修」にも取り組んでいます。今後とも貴工業会と連携し群馬県の産業活性に力を尽くしたいと考えています。

貴工業会の皆様の更に一層の産業技術センターのご利用ご活用宜しく申し上げます。

総 会 報 告

群馬県シートメタル工業会役員構成

役 職	氏 名	会 社 名	役 職	氏 名	会 社 名
会 長	岩本 博	株式会社太田治工	総務部会	部 会 長	岡部 浩章 岡部工業株式会社
副 会 長	島田 利春	島田工業株式会社		副 部 会 長	高木 賢治 株式会社高木製作所
副 会 長	須田 亮伸	株式会社アリギス		副 部 会 長	飯山 靖 株式会社アイワ
経営部会	部 会 長	六本木信幸 株式会社グンゴー		副 部 会 長	中島 幸彦 中島鉄工株式会社
	副 部 会 長	遠山 忠一 加藤鉄工株式会社		会 計	中沢 志光 株式会社中澤工業所
	副 部 会 長	嶋田 英昌 株式会社コイズミ	監 査	林 進 株式会社林製作所	
生産部会	副 部 会 長	臂 友幸 株式会社アッセンブリー・プラント・グローリー	監 査	野沢まき子 大泉工業株式会社	
	部 会 長	田辺 賢二 有限会社タナベ鉄工			
	副 部 会 長	福島 寛 株式会社協和工業			
	副 部 会 長	橋本 文秀 株式会社住吉製作所			
副 部 会 長	茂原 純一 株式会社モハラテクニカ				

6月14日に開催されました第8回の定期総会において、役員全員の再任が承認されました。

2007年度4月～2008年度2月 活動軌跡

2007年

平成19年度

1月23日 賀詞交歓会 第52回役員会 (ウェルシティ前橋)



- 1月27日 技能検定実技 (協和工業)
- 2月 4日 技能検定学科 (群馬県職業能力開発協会)
- 2月 7日 技能検定実技 (太田治工)
- 2月10日 技能検定実技 (岡部工業)
- 2月11日 技能検定実技 (松見精工)
- 2月27日 第53回役員会 (伊勢崎地域職業訓練センター)
- 4月 4日 第54回役員会 (福一)
- 4月19日 五県交流会 (ホテルレイクビュー水戸)
- 5月24日 五県交流会 (笠間東洋ゴルフクラブ)
- 5月24日～27日 Advanced Stage (朝霧スクエア)
- 6月 1日～3日 リーダー研修 (朝霧スクエア)
～職場リーダー養成～
- 6月14日 第8回総会 第55回役員会 (ウェルシティ前橋)



- 6月21日～24日 新入社員研修 (朝霧スクエア)
～マナーとコミュニケーション～
- 7月14日 検定前学科講習会 (伊勢崎市民プラザ)



- 8月 4日 検定前学科講習会 (伊勢崎市民プラザ)
- 8月10日～12日 パワーアップ研修 (朝霧スクエア)
～会社の現状・今を変える～
- 8月29日 第56回役員会 (福一)

平成19年度予定

- 9月 7日～9日 国内研修会 (九州)
- 9月 8日 検定前学科講習会 (伊勢崎市民プラザ)
- 9月21日～23日 パワーアップ研修 (朝霧スクエア)
～効率的な生産活動の進め方～
- 9月30日 第9回親睦ゴルフコンパ (鳳凰ゴルフ倶楽部)
- 10月 メンテナンスゼミ (NCT、金型) (未定)
- 10月 第57回役員会 (未定)
- 10月13日 検定前学科講習会 (伊勢崎市民プラザ)
- 10月20日 安全又は衛生のための特別教育 (グンゴー)
- 10月26日～28日 リーダー研修 (朝霧スクエア)
～人間関係とヒューマンエラー～
- 10月27日 若手社員教育 (アマダマシン見学)
- 11月17日 工業会正副会長会 (フォーラム246)
- 11月17日 検定前学科講習会 (伊勢崎市民プラザ)
- 11月24日～25日 技能検定前実技講習会 (機械板金)(協和工業)
- 11月30日～12月2日 フォローアップ研修 (朝霧スクエア)
～生き残りをかけた経営革新～
- 12月 1日～2日 技能検定前実技講習会 (NCT)(協和工業)
- 12月 第58回役員会

2008年

- 1月 板金加工通信講座第三期開講
- 1月～2月 賀詞交歓会 第59回役員会 (前橋)
- 2月 技能検定
- 2月 現場作業者の為の実習教育
～第4回スポット溶接ゼミ～
- 3月 第60回役員会

新入会員紹介



有限会社岡島工業

代表取締役 岡島 秀治

初めまして。この度、群馬県シートメタル工業会に入会させていただきました、太田市の有限会社岡島工業と申します。

弊社は平成2年、溶接を主体とした加工業として創立後、特殊車両や医療機器、遊技機器など、様々な板厚・材質の製品の加工に勤んでまいりました。

お客様からの多様化する要望に対して、早く・良く・安く対応を行うために、設備に関しましても、積極的に導入を行なってまいりました。現在ではレーザー加工機からベンダー、プレス、パイプベンダー、特に溶接に関しましては、YAG溶接からアルゴン・Tigなど、ロボット溶接機も多数取り扱うまでとなりました。

今回、この入会を機に、多くの会員の皆様とのコミュニケーションがとれ、皆様と共に弊社もレベルアップができればと願っております。また、様々な勉強会等を通じ、社員の意識向上にもつながればと考えております。そして、この群馬県シートメタル工業会の発展のために、微力ではありますが、尽力させていただきたいと考えております。

これから役員の皆様、会員の皆様には、何かとお世話になるかと思いますが、御指導御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



株式会社GMタイセー

取締役 笠原 正伸

この度、群馬県シートメタル工業会に入会させていただきます(株)GMタイセーの笠原と申します。弊社の紹介とご挨拶をさせていただきます。

弊社は平成2年、神流町(旧万場町)から藤岡市に進出し、メカ板金部品の製造からメカユニットの組立までの一貫生産を行っております。特に、様々な形状加工が可能なレーザー複合機、プレスブレーキ等の汎用性が高い設備を軸に、二次加工部品のカシメ・溶接、NC旋盤やマシニング等の小ロットから大ロットまでの精密板金部品を行う設備を取り揃えております。そして、これら設備にて製造した部品を使用した情報端末機器の組立に10年以上の経験を持つ会社です。

今現在、工場創業当時と比べ海外への生産拠点移転や技術継承等、様々な意味で環境が変わり課題も多々あります。この変化を乗り切る為、より多くを学ぶ必要があると考えております。その為、この会を通して各種ゼミ、講習会など利用させて頂き、多くの会員の皆様方と情報

交換させて頂ければと思っております。

まだまだ若輩者でございますが、今後ともご指導御鞭撻の程、よろしく御願ひ申し上げます。



株式会社マルニシ

代表取締役 堀口 清司

この度、群馬県シートメタル工業会に入会させて頂きました藤岡市の(株)マルニシの堀口と申します。

よろしく御願ひ致します。

弊社は昭和48年富岡市にて創業、板金加工は昭和49年からスタート。現在の藤岡市西平井工場は平成11年より稼動しております。

製品は、防災避難器具(ハッチ・ハシゴ)消火栓ボックス、道路標識を中心に、その他害虫駆除機、建築金物等です。

避難器具は人命に即結びつきますので品質には特に重点を置き、小さなバリも見逃しません。又御客様により御満足して頂けるように「納期の短縮」「コストの削減」「品質の向上」を社員一丸となり取り組んで、日々改善を進めております。

しかし、材料の高騰・少子高齢化・海外との競争等々テーマは尽きることが有りません。今回の入会を機に先輩会員の皆様方との有意義な情報交換が出来ればと願っておりますので、どうぞ宜しく御願ひ申し上げます。



西工業株式会社

代表取締役 西 禎造

この度、群馬県シートメタル工業会に入会させて頂きました、桐生市の西工業株式会社の西禎造と申します。

弊社は昭和59年桐生市で操業始めました。

業種は布、紙、フィルム等の、シート状製品の加工機械の製造を行なって居ります。現在は主に液晶表示器用の偏光板製造装置が弊社のメイン製品と成っています。

今回新製品開発、試作を行なう為NC装置付きレーザー切断機と折り曲げ機を導入致しました。今回の入会を機に各種講習会、パワーアップ研修会等に役員、社員を積極的に参加させて頂き技能向上と経営改善に役立てて行きたいと期待して居ります。

又、工業会の役員の皆様、会員の皆様には今後大変お世話を掛けるかと思いますが、ご指導を宜しく御願ひ申し上げます。

最後に当会の今後のご発展と、会員皆様方のご健勝とご繁栄を心よりご祈念申し上げ入会のご挨拶と致します。

技能検定合格者



機械板金作業
2級

株式会社 太田治工 **角田 久夫**

私は(株)太田治工でベンダー作業を

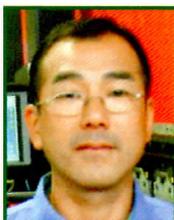
しております。技能検定とは何をやる

のかも分からなくて、とても不安な気持ちで一杯でした。正直言って私は、機械板金作業を受検するのだからベンダーの事だけを知っていれば合格できるものと思っていました。しかしそれはとんでもない思い込みでした。

自宅で検定前講習の時の練習問題や過去問題をやっているとお題範囲が広く、又板金加工以外の問題が多数出題されており、解答を見ると私はとんでもない解答を記入していました。講習資料や板金加工の手引きを見て理解出来ず、上司や他班の方に問いかけての繰り返しでした。実技では仕上が寸法が安定せず、仕事が終わってから、もしくは休日を利用して補正のかけ方の悪さに気が付き、検定前には何とか安定した仕上が寸法が出せる様になりました。合格発表の日に群馬県のHPを見たら私の受検番号が記載されていました。とても嬉しかったです。

私なりに技能検定を経験して学んだ事は、自分の担当の仕事は当然知る事、又他の仕事でも広く知る事が大事で、色々な仕事で対応出来る知識を学ぶ事が出来ました。この経験を仕事に生かして頑張っていきます。

最後になりますが、この機会を与えて下さいました岩本社長、そして(株)太田治工の皆様、並びに群馬県シートメタル工業会の御支援に感謝致します。



機械板金作業
2級

有限会社 松見精工 **斉藤 知志**

私は(有)松見精工製造2課課長をして

おります斉藤と申します。入社して20

年近く経ちました。本来の業務は溶接加工組み立てまための責任者をさせて頂いております。今回機械板金作業2級を受けることとなりひさびさに勉強することとなりました。講習を受けながら合格率がけっこう低いと知らされ、これは大変なことになったと思いました。いざ勉強を始めていくと、今まで何気なく使っていた物の名前や文字や言葉の意味が良くわかり、間違っ覚えていたものや間違っ使っている事が多々あり本当に勉強になりました。試験問題は範囲が広くピンポイントの出題だったので苦労しました。直接かかわってはいない鍍金・はんだ・電気・プレス機械・材料力学など板金加工の奥

深さを思い知らされました。実技実験は、シャー・ベンダー・スポットを使った課題作りですが、最近はほとんどNC加工した物を曲げ、溶接するのが主流ですが、私が入ったころはまだシャーやコーナーシャ・セットプレスを使って物作りをすることも多かったのものでそのころの経験が活かせたのだと思います。今後も機会があれば上の級もねらってみたくと思います。今回チャンスを下さった会社や協力してくれた同僚に感謝し間違っことを教えることのないように後進の指導に努めていきたいと思っています。



機械板金作業
2級

有限会社 松見精工 **小林 進**

私は、会社では主に溶接作業を担当

しています。

社長から『機械板金作業の技能検定試験を受けてみないか?』と言われた時内心は『溶接屋なんだけどなぁ』と思いましたが、これも経験と思い直し受験する事になりました。

入社当時、基本的なベンダー操作は教えてもらっていたのですが最近ほとんどベンダーに関わる事が無かった為、一からやり直します。

仕事が終わってから“基本に忠実に”をこころがけ納得のいくまで練習しました。また、学科試験は過去に出題された問題を毎日、毎日繰り返し勉強しました。出題範囲が広く、普段関わることの無い問題が多く苦労しましたが、会社の好意により検定前講習会や学科講習会を受講させていただいたのでなんとか合格する事ができました。この経験と取得した技能士の資格を生かして、これから後に続く後輩達の手本となり適切なアドバイスができるようにがんばりたいと思います。



機械板金作業
2級

株式会社 協和工業 **延命 英明**

私は、協和工業で材料・NC加工その

他全般的な作業を担当しています。

5年前にタレットパンチプレス板金2級に合格する事が出来ました。試験前日迄、作業終了後にプログラム作りで専念しました。その結果、見事合格通知を手にする事が出来ました。3年前に、機械板金を受検しましたが、その時は残念ながら不合格の結果になってしまいました。今回、再挑戦をしました!今迄とは全く問題が違いかな

り戸惑いました。とにかく練習、練習する事で検定試験に臨みました。試験問題も当日微妙に寸法の変化が有り、展開計算、寸法、角度等がかなり苦労しました。合格通知が来るまでは不安な毎日でしたが、合格通知が届いた時はとても嬉しくホッとしました。「やれば出来るんだ」って事をつくづく実感しました。

この場をお借りして工業会の皆様、職場のベンダー班、その他の人達に御協力いただき感謝しております。

これからは、2つの資格を生かして多くの若手が資格を取れるよう指導していきたいと思ひます。



機械板金作業
2級

株式会社 協和工業 **天田 広幸**



私は、協和工業でNC加工業務を担当しております。NCT技能検定は、3年

前に合格して、今回工場板金の検定を受けることとなり、通常業務とは違う加工機械や、今年から検定内容に加えられたスポット溶接機など、全てが一からの勉強になりました。特に曲げ加工機ベンダーなど機械操作からの勉強になり、曲げ加工担当者に何度も指導してもらいながら、角度出しまたは寸法出しの難しさなど曲げ加工業務への理解を深めることが出来、これからの自分自身の仕事の幅が広がりまだまだ勉強しなければならないと再認識しました。これからは1級合格を目指して仕事に頑張っていきたいと思ひます。

最後に、今回私の合格に協力して下さいました関係各位と、勉強する機会を与えて下さった弊社、群馬県シートメタル工業会に心より感謝致します。



機械板金作業
2級

株式会社 吉田鉄工所 **若狭 大介**



今回、技能検定を受検するにあたり、群馬県シートメタル工業会が主催する講習会を受講しました。いままで10年以上にわたって板金の業務に従事してきましたが、その板金業務に関して必要とされる知識の種類が多さと量の多さに驚き、毎回新鮮な気持ちで受講する事ができました。

やはり板金も良い製品を作り上げていくには腕がいいことも当然ではありますが、知識として持ち合わせていなければならないことも学びました。

その機会を受検という形で得られたことは、自分自身にとっても大変貴重な体験でした。合格したからこれで終わりということではなく、今後は今回得た知識を皆に指導できるように頑張りたいと思ひます。

また、資格を取得するにあたって関係各位の多大なる

ご支援を得られたことに心より感謝致します。



数値制御タレットパンチプレス板金作業
1級

島田工業 株式会社 **清水 貢留**



私は島田工業で主にNCTを担当している清水と申します。技能検定については以前から話を聞いたことはありませんでしたが、自分で受ける事になるとは思ってもいませんでした。

上司からの「まあ、駄目もとで受けてみれば」の一言で講習会に参加して「こんなに難しいのか、受かるはずない」と思いましたが周りのみんなにも励まされ、講習会終了後周りのみんなにわからない所や疑問に思った所を聞いて理解していきました。又実技に関しては、NCはいつも使用しているのですがA P 100に関しては数回しか使った事がないので加工プログラムを作成するのが大変でした。わからない事が多く担当上司にかなり迷惑をかけてしまいました。その甲斐もあり技能検定に無事合格できうれしく思ひます。

最後に受検に際して学科及び実技の事前講習の機会を与えて下さいましたシートメタル工業会の皆様及び協力してくれた会社の皆様に感謝いたします。どうもありがとうございました。



数値制御タレットパンチプレス板金作業
1級

有限会社 松見精工 **角田 久**



私は(有)松見精工に勤務しております角田と申します。

会社では主に、タレットパンチプレスを操作して15年位経ちます。

弊社が去年、工業会に入会した事を機に、技能検定試験を初めて受ける事になりました。四十の手習いという言葉が有りますが、五十の手習いという言葉は聞いた事が有りません。果たして自分が合格出来るのか…全く自信は有りませんでした。最初だから、2級からチャレンジしようかと思ひましたが、『最初から1級だ!』と激を飛ばされました。1級を受けると決めた以上、やるだけやってみようと自分に言い聞かせました。

検定前講習では板金の基礎から学びましたが、自分の無知さには呆れるばかりです。当然理解出来ると思ひていた知識、図面の見方、記号等々、改めて聞かれると中々正確な解答が見つかりません。若い人と違って、大分歳を食って居ますもので、勉強しても覚える傍から忘れてしまう、そんな事の繰り返しでした。ある日会社の後輩が、覚えるのなら単語帳が良いよ!という話を聞いて早速100円ショップにて購入、その数は最終的に6~7冊になりました。これだと、車の中とか何処でもチェック出来

るので便利かと思えます。過去問題は集中的にやりましたが、正解は解っても理解出来ない（理屈が解らない）問題等は、アイリンクのHP上に有る『板金技能検定講座』が解説も載っており、非常に参考になりました。

AP100は普段使い慣れては居るとは言え、それが試験となると当然緊張します。これから受検される方は、設定の違いが思わぬ落とし穴時なったりしますので注意した方が良いと思えます。

試験の結果発表日までは落ち着かない日々を送っていましたが、合格の一報は、まるで夢を見ている様でした。

今後は後進の指導や、育成に励み又、更なるスキルアップを図るべく今まで以上に謙虚な姿勢で仕事に従事して行きたいと思えます。

最後にシートメタル工業会を初め、関係各位、検定に尽力された方々には、この場を借りて心より御礼申し上げる次第であります。



数值制御タレットパンチプレス板金作業
1級

株式会社シンノエパック **兵藤 武志**



私は、(株)シンノエパックで今現在、主に設計及びAP100を使用したCAD・CAMの仕事をやっています。NCTのプログラム作成は、長い間たずさわっていますので、ある程度の自信は有りますが、いまだに奥が深く、ベストな板取・穴・切欠等の抜き順、又精度の高い物作り等、バランスを考慮するとまだまだ研究の余地が有り、日々勉強の積み重ねだと思えます。設計については、別のCADを使用して図面を書いているのですが、客先の要望を出来るだけ取り入れようとすると構造上困難かと思われる場合が有り、大きな壁に突き当たる事が多々有り、何日か考えても良い案が出ないことが有りますが、夜寝る前や朝起きた時に急に閃いたり、いつ何処でアイデアが浮かんで来るかわからないので何事にも注意を払う様に心掛けています。

最後になりましたが、資格を取得するにあたり、機会を与えて下さいました弊社、並びに群馬県シートメタル工業会のご支援に心より感謝致します。



数值制御タレットパンチプレス板金作業
2級

有限会社太伸工業 **山口佳津行**



私は(有)太伸工業で主にAP100でCAD/CAM及び溶接・仕上げの仕事を担当しており、以前EM2510に従事していた事があったので検定を受けてみたのですが、実技試験はいつもの作業ができれば大丈夫かなと自信はあったのですが、筆記試験の方が範囲が広いので不安でしたが検定前講習を受

けてみて出題傾向や出題範囲、過去問題など大変役にたちました。

今後はこの資格を仕事に生かし、1級取得も目指して行きたいと思えます。



数值制御タレットパンチプレス板金作業
2級

株式会社アマダ **久永 隆裕**



私は、現在レーザー及びレーザー複合機のサービス担当として働いています。

普段からNCTなどの加工機は点検、修理など関わっていますが、技能検定での内容はAP100からのプログラム作成もあり、基本に帰る意味も含め頑張ってみようと思ひ受けることにしました。学科検定については広い範囲での出題だったので、事前に要点を押えるのに苦労しました。実技試験では作成したデータの見直しや段取り後の確認作業にポイントを絞って実施しました。時間制限の中で円滑な作業と安全確認に注意するという事は、普段から意識していないと、どちらかが疎かになってしまいます。それを実際に作業してみると結構難しい事だと改めて実感させられました。

より良いご提案及びサービスそしてお客様のすばらしい物造りの為に、これからも努力していきたいと思ひます。支えて頂いた関係各位の皆様、本当にありがとうございました。

CONGRATULATIONS!



数值制御タレットパンチプレス板金作業
2級

株式会社アマダ **林 賢司**



数值制御タレットパンチプレス板金作業
1級

株式会社アマダ **新保 賢一**



数值制御タレットパンチプレス板金作業
1級

株式会社アマダ **船岡 大祐**





数值制御タレットパンチプレス板金作業
1級

株式会社 アマダ 石塚 光男



数值制御タレットパンチプレス板金作業
1級

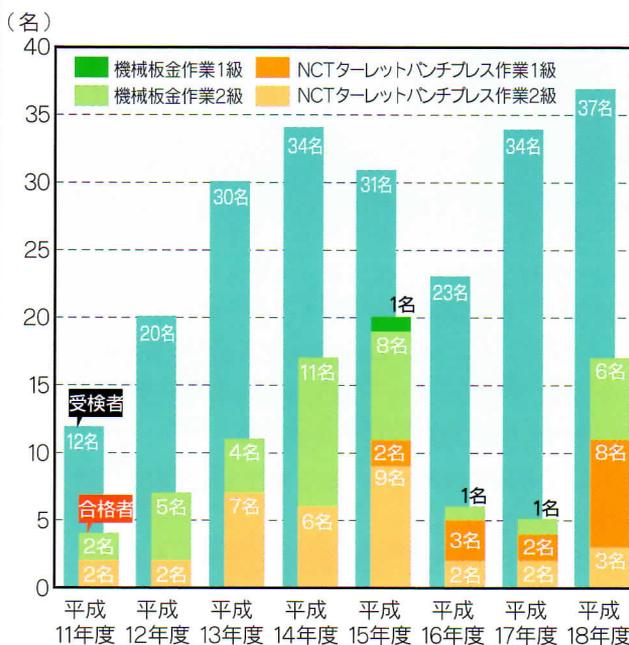
株式会社 アマダ 市川 和生



数值制御タレットパンチプレス板金作業
1級

株式会社 アマダ 三輪 剛

技能検定合格者数



Information

■東毛産業技術センター「開放研究室」入居者募集中
研究開発に研究室をご利用ください。詳細は下記で。
<http://www.tec-lab.pref.gunma.jp/setsubi/incubation/kaihou.html>

■「まる得通信」受信者募集中

群馬県立産業技術センター まる得通信のご案内
役立つ情報が満載です。

<http://www.tec-lab.pref.gunma.jp>

興味をお持ちの方は下記のアドレスからお申し込みください。
git@tec-lab.pref.gunma.jp

BUSINESS CHANCE

ナイスキャッチャー



島田工業株式会社様でカップに入ったゴルフボールを腰を曲げることなく、立ったまま取り出す事ができるゴルフグッズ『ナイスキャッチャー』（特許商標出願中）を開発されました。6月27日からゴルフ用具製造卸のライト（東京都北区）を通して全国2千店舗で販売スタートしております。

今回は島田会長にその開発の経緯、ご苦勞をお聞かせします。

島田会長

一昨年の暮れ、ゴルフプレー中、腰に激痛が走り、

そのまま入院する事となりました。入院中、いろんな事を考えました。ゴルフはやりたいが腰は気になる、少しでも腰に負担をかけないでできないか？又こういう悩みを持っている人も多くいるのではないかと、年配の方は？等々…この時アイデアが生まれました。

アイデアを具現化するにあたり、ボールの掴み具合、特に感覚の部分に重視し、いろいろな方に試してもらった意見を基に改良しつづけました。試作品は形状、材質を含め100個以上、又、多種多様のパターングリップ形状にも随分と悩まされ、約1年の試行錯誤の末商品化に至りました。

ゴルフ人口は年配の方を中心に増加傾向だと聞いています。少しでもその悩みを少なくし、ゴルフを楽しめれば…と思う次第です。



What are you interested in?



税理士の免許取得について

中島鉄工株式会社

代表取締役社長 中島 幸彦

私が地元太田市に戻ってきて、早12年になります。

18歳で横浜国立大学経営学部に入學し、卒業後、同大学の大学院を受験して横浜国立大学大学院経営学研究科に進学し、修士課程を修了しました。その後、太田昭和アーンストアンドヤング株式会社に入社し、4年間勤務して太田市に戻りました。つまり高校を卒業してから10年間、横浜市と東京都で過ごしたのです。

その10年間で国家資格である税理士を受験し、資格を取得しました。

今回は、私が税理士を受験しようと思った動機、そして就職して経験したことや取得したことのメリットについて書いてみようと思います。

まず、税理士受験のきっかけは、大学での会計学の権威者である若杉明教授との出会いでした。若杉先生は、戦後の企業会計を築き上げ、企業会計原則を監修した黒澤清先生の教え子で黒澤イズムを引き継いだ日本でも数本の指に入る会計学で有名な先生だったのです。当時、東は横浜国大の若杉教授、西は神戸大学の武田教授といわれておりました。その若杉ゼミの扉を叩いたがために会計学に興味を持ち税理士受験に至ったのです。ゼミ生の8割近くの方が、公認会計士または税理士を受験していました。大学院に通いながら専門学校に通う、いわゆるダブルスクールで税法と会計を学び、税理士資格の取得に至りました。

税理士として登録し、仕事をするには税務の実務経験が2年必要なのです。

そのため太田昭和アーンストアンドヤング株式会社に就職しました。日本の太田昭和監査法人と米国のアーンストアンドヤング監査法人の業務提携による国際税務部門を担当する税務コンサルティング会社でした。現在は、新日本アーンストアンドヤング税理士法人といえます。

仕事内容としては、簡単に言うと海外企業の日本進出のお手伝いです。駐在員事務所としての進出、営業所、日本支店として進出、日本子会社の設立、アニュアルレポートを作成するための海外本社へのレポート提出、米国の申告書の作成、その他、日本での税務等の申告や申請をしておりました。そのレポートは全て英語で、会計専門用語も財務諸表もちろん英語です。さらに日本の会計基準を米国の会計基準に直す作業もありましたので米国の税法も学びました。一番苦痛だったのが外国人との英語での打ち合わせでした。チンプン？カンピン？でもこの会社でなかったら絶対に経験できないことだし、今となってはとても印象深い思い出となっております。その職場で妻の利香と出会い、結婚しました。

その後、父親の家業を継ぐため太田市に戻り、東京税理士会から関東甲信越税理士会に転籍しました。当時、28歳で館林支部では最年少でした。知識を売るサービス業から物を造る製造業へ転身です。畑違いでしたのでこれまたチンプンカンピン？でしたが、まずは半年間現場を体験しました。体を動かすのは好きな方なので全然苦になりませんでした。それから生産管理部に移り、独自の生産管理システムの構築に携わり、その後、企画営業部で営業をし、アマダスクールで泊りがけの講習を受けたりして板金のノウハウを習得しました。今から7年前に創業以来お願いしていた顧問税理士の先生が他界したため、それからは会社の財務、税務申告等すべて私の仕事となってしまいました。その頃から財務分析や経営診断をして、10年後の計画立案をしました。そして現在では増収増益となり、業績も向上しております。自分で分析や診断を出来ることで経営決断がスムーズに出来ます。また、銀行から信頼されること、東京や地元の税理士、公認会計士の仲間がたくさん出来たこと、その仲間と税務議論が出来ること、経営者の友達や銀行員の税務相談に乗ってあげられることなど、税理士資格を取得したことのメリットは枚挙にいとまがありません。若杉教授との出会いに感謝しつつ、これからもこのメリットを生かし、益々会社を発展させ、人間的な面でも幅を広げていきたいと思っております。

事務局通信

10月20日（土）に「労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別教育」を行います。

技能検定を受検される方は必ず（昨年度より、実技試験の条件になっています）、又鍛圧機械の操作に従事されている方はできるだけ、この機会に受講をお願いいたします。

9月下旬には技能検定の申込受付が始まります。各担当者のスキルアップ、モチベーションの向上にお役立て下さい。

検定前実技講習会も11月24・25日（機械板金）、
12月 1・ 2日（NCT）

を予定しています。